

「環境と調和した緑地整備について」

工事名 清住緑地拡張整備工事

静岡県施工管理技士会三島地区

加和太建設株式会社

現場所長 重田 好法（CPDS 番号：00266282）

1. はじめに

本工事は静岡県三島市清住町地内にある旧綾部養魚場を取り壊し、既存の境川・清住緑地を拡張整備する工事である。

「境川・清住緑地」は一級河川境川の中洲に湧水が自噴する池と緑地が広がり、近隣に住宅が立ち並ぶ近隣環境と生態系が調和した緑地である。

境川・清住緑地に隣接した旧綾部養魚場は、自噴する湧水を利用した養魚場であったが、着工前はコンクリート 3 面張りの養殖池の中に土砂が埋め戻され、雑草が繁茂し荒地となっていた。

全国的にも貴重な景観を有する、自噴する湧水を利用した親水緑地を NPO グラウンドワーク三島、地域住民、隣接する境川の河川改良工事（静岡県発注）が一体となって整備工事を行った。

工事名 : 清住緑地拡張整備工事

発注者 : 静岡県三島市 水と緑の課

工期 : H31.4.27～R2.3.31

工事内容: 敷地造成工 1 式、園路広場整備工 1 式、修景施設整備工 1 式、構造物撤去工 1 式
植栽工 1 式

着工前写真



完成写真



2. 現場の課題

① 希少な動植物への配慮

境川・清住緑地は三島市水の郷構想により湧水と触れ合える場所となっており、絶滅危惧種ホトケドジョウ・固有種ミシマバイカモなどの希少な動植物が生息するため、環境への影響を最大限配慮して施工を行う必要があった。

② 設計思想の反映

環境への配慮を行う為、グラウンドワーク三島が整備計画を立案し、それを基盤に地域住民との意見交換会を数回重ねて整備計画を定めた経緯があり、設計思想を現場に反映させる必要があった。

③ 近隣工事・近隣環境との調和

本工事は既存の境川・清住緑地と境川の河川改良工事が隣接しており、景観を調和させていく必要があった。

3. 実施内容

現場の課題に対しての対応を下記の通り行った。

①希少な動植物への配慮

セメント流出防止としてプレキャスト基礎の積極的な使用を行い、コンクリートの現場打設を減少させた。

現場内には湧水が多くありその処理が課題となったため暗渠排水管を施工し、敷地造成を行った。

プレキャスト基礎の使用



湧水暗渠排水管施工



②設計思想の反映

地域住民への工事説明会をグラウンドワーク三島、沼津土木事務所、三島市が合同で実施した。施工期間中は頻繁にグラウンドワーク三島と現場打合せを実施し、設計思想に沿った施工を行った。

地域住民への工事説明会



グラウンドワーク三島との現場打合せ



③近隣工事・近隣環境との調和

近隣住民との意見交換、近隣環境の理解を深めるため、意見記入ホワイトボードや、生息する生き物の紹介看板を設置した。

生息する生き物を紹介する看板設置



意見記入ホワイトボード設置



④柔軟な計画変更

現地は湧水等により、計画通りの施工ができない箇所が多く存在した。その為、この緑地公園の景観に合うような形状への変更を提案し、採用していただいた。

湧き間の溶岩積による修景

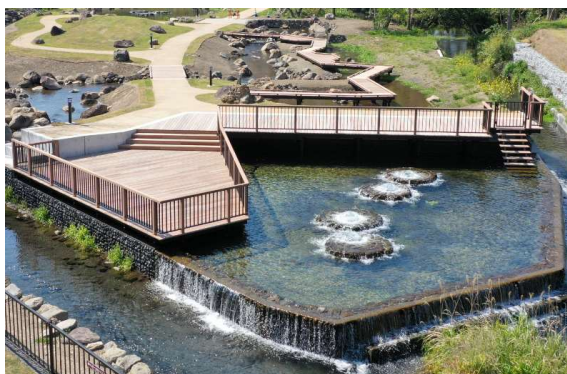


池壁部の溶岩積による修景



効果：自然石による景観の調和・生物の住処を創出

展望デッキに階段を設けた2段形状へ変更・栈橋形状へ変更



効果：上段は園路と段差を設けないため入りやすい。

下段は水面との距離が近く、水景を観察しやすい。

栈橋形状によりデッキ下に水面があるため、夏季は涼しく生き物の住処になる。

4. まとめ

清住緑地拡張整備工事は地域住民、グラウンドワーク三島、静岡県、三島市と多くの関係機関が設計思想を基に協議することで、現場を完成させることができた。

湧水地の整備という特性上、湧水の切回しやセメント流出防止などの対応に苦慮したが、設計思想を考慮した変更計画を提案し、関係機関の信頼を得ることで、現場の特性に柔軟に対応した施工をすることができた。

現場での綿密な打ち合わせを経て関係機関の信頼や協力を得ることが重要だと学んだ。

今後の現場運営においても発注者や利用する方に喜んで頂けるように、設計思想を理解し、関係機関の協力を頂けるように現場運営をしていきたい。

また、自然環境と調和した緑地整備は生物多様性を次世代に残す重要な事業である。今後の緑地整備工事が環境との調和を考慮した施工となることを期待している。